

●JPC 知財戦略専門部会・専門委員会委員長 藤野仁三 先生の連載第二回。今回は「トランプ政権誕生と知財」の話題です。

●一般財団法人光産業技術振興協会主催の特許フォーラム「～光主要産業の特許出願動向～」が開催されます。本フォーラムでは、本年度の光技術に関する特許動向調査の結果を報告するとともに、長年、知的財産管理の現場でご活躍され、「知財スペシャリストが伝授する交渉術 喧嘩の作法」の著者としても知られる一般社団法人日本知的財産協会の久慈直登専務理事をお迎えして特別講演を行います。

=====

連載：「知財の今を語る」 第二回

藤野仁三(東京理科大学専門職大学院知財戦略専攻、嘱託教授)  
(JPC 知財戦略専門部会・専門委員会委員長)

■「どうなるトランプ政権の知財政策？」

トランプ政権が世界を翻弄している。大統領はもとより、側近の振る舞いも公人としていかなものか、良識が疑われる。このような陣容でトランプ政権は米国の知財政策をどこに引っ張っていくのであろうか。この疑問は、日本の知財関連のセミナーや講演会でも定番の質問となっている。私はこの質問には、トランプ政権は知財にあまり関心をもつことはないだろうと答えている。その理由はいくつかある。

まず、大統領自身が不動産で財をなした人であり、無体財産にはあまり興味がないのではないか。次に「アメリカ・ファースト」の優先項目は製造業を米国内に回帰させること。国内に製造業が戻り、モノづくりの基盤ができれば知的財産が生まれる。知財は当然のように権利化される。問題は、それを政権が外交政策の「てこ」として政治的に使うかどうか。おそらくそれはないであろう。

歴史的にみると、米国の民主党政権は強い国内知財を、弱い自国産業の利益と相殺させる形で貿易収支のバランスをとろうとしてきた。例えば、90年代の半導体や乗用車

の対米輸出の自主規制を日本に求めたのがそれであり、TPPも根底には同じ思想があった。ところが、強みとしていたはずの知財はITを駆使したサービス関連にシフトしていて、肝心のモノ作りのための基盤技術が空洞化した。つまり、産業競争力には貢献しない知財だった。近年、米最高裁が特許を無効することが多いが、無効とされた特許はサービスやビジネスモデル、そして旧知工程の組み合わせ特許である。それらは長い間特許が認められなかったもの。

型破りな言動だけが報道されることが多いが、新政権は基本的に共和党政権である。共和党政権は伝統的に経済活動を企業の自主性に任せ、あまり制約しない。それは知財にもあてはまる。アメリカ・ファーストによって製造業が力を取り戻せば企業はモノ作りのための知財を蓄積しそれを行使することになる。その時に米国の知財力が復活するかもしれない。それはトランプ大統領の意向とは無関係な結果である。

=====

#### ■「特許フォーラム ～光主要産業の特許出願動向～」

平成28年度特許動向調査委員会活動の一環として、光産業技術振興協会「特許フォーラム」を開催いたします。

本フォーラムでは、本年度の光技術に関する特許動向調査の結果を報告するとともに、長年、知的財産管理の現場でご活躍され、「知財スペシャリストが伝授する交渉術 喧嘩の作法」の著者としても知られる一般社団法人日本知的財産協会の久慈直登専務理事をお迎えして特別講演を行います。

ぜひともご参加いただけますよう、お願い申し上げます。

#### 記

開催日：2017年3月10日（金） 13：00～17：00 終了後懇談会  
会場：学士会館 202号室 <http://www.gakushikaikan.co.jp/access/>  
(東京都千代田区神田錦町 3-28)

参加費：

弊協会賛助会員(会社)・大学・公的機関： 無料

一般（上記以外）： 3,000 円

懇談会： 無料

内容：

1. 平成 28 年度光産業特許動向調査報告

- ・ 調査概要
- ・ 光通信ネットワーク
- ・ ディスプレイ
- ・ 太陽光エネルギー
- ・ 光ファイバ
- ・ デジタルコヒーレント通信
- ・ ヘッドマウントディスプレイ／小型プロジェクタ
- ・ レーザ加工
- ・ LED 照明

2. 特別講演

「第 4 次産業革命とオープンイノベーション」

ーオープンイノベーション時代における知財交渉術、喧嘩作法を解説ー

久慈 直登 氏      一般社団法人日本知的財産協会 専務理事

詳細はこちら：[http://www.oitda.or.jp/main/forum/tokkyo\\_index.html](http://www.oitda.or.jp/main/forum/tokkyo_index.html)

お申込方法   ： 下記 URL よりお申し込みください。

[http://www.oitda.or.jp/main/data/tokkyo\\_postmail.html](http://www.oitda.or.jp/main/data/tokkyo_postmail.html)

定員になり次第、締め切らせていただきます。

事務局： 一般財団法人光産業技術振興協会 開発部 板倉・吉川  
〒112-0014 東京都文京区関口 1-20-10 住友江戸川橋駅前ビル 7  
TEL： 03-5225-6431（代表） Email：[pforum16@oitda.or.jp](mailto:pforum16@oitda.or.jp)

=====

□日本フォトニクス協議会 3 月の催事のご案内

J P C フォーラム 3 月定例会

- ・日時：2017年3月7日（火）13：30～16：30
- ・会場：東京理科大学 理窓会 第二会議室

JPC 産業用 LED 応用研究会 & JPC 関西定例講演会

～最新の半導体光源（LED/LD）とその応用～

- ・日時：2017年3月10日（金）13:00～17:00
- ・会場：マイドームおおさか 8F 第6会議室

※詳細は下記WEBサイトでご確認ください。

<http://j-photonics.org/info-top/>

※お知り合いに JPC 入会をご勧誘ください。PR パンフは下記にございます。

<https://goo.gl/68Lv1b>

-----

以上、【JPCニュース】4号をお送りいたしました。

※毎月定期的に知財関連や光産業分野のニュースをお送りいたします。

※会員の皆様の投稿記事も適宜掲載いたしますので、掲載をご希望される方は事務局までご連絡ください。

※JPC事務局まで光の情報、ご意見、ご感想をお寄せください。

\*\*\*\*\*

**特定非営利活動法人 日本フォトニクス協議会**

事務局長 宇津野 操 [utsuno@j-photonics.org](mailto:utsuno@j-photonics.org)

[TEL:03-5228-3541](tel:03-5228-3541) FAX:03-3269-2551

〒162-0814 東京都新宿区新小川町 5-5 サンケンビル 1F

[www.j-photonics.org](http://www.j-photonics.org) [jpcinfo@j-photonics.org](mailto:jpcinfo@j-photonics.org)

\*\*\*\*\*